第２回 地域包括ケアシステム検討委員会　レジメ

日時　令和８年 10 月 29 日（木）10:00～11:30
場所　高梁市役所 ３階 大会議室１

今回のテーマ
「高梁市における生活支援体制のあり方について～いきいき生活サポーターとお助け隊を踏まえて～」

１．開会

２．あいさつ

山根委員長：第２回のシステム検討委員会。活発なご意見をお願します。

３．協議事項

（１）　第１回検討委員会で出された主な意見　P1 中原主幹

①２つの仕組みがあり、分かりにくい
- いきいき生活サポーターとお助け隊の役割が重なる部分がある
- 利用者・支援者にとって分かりにくい
- ケアマネジャーとしても、どちらにつなぐのか迷う
- 一本化した方がよいのではないか

②現在の活動者の意向を確認する必要がある
- いきいき生活サポーターは現在 33 人
- 制度を見直す前に、養成講座を受講した人の意向確認が必要ではないか
- 「一緒になるのは困る」という意見もある

③それぞれの仕組みの良さ・役割を踏まえる必要がある
- 単純に統合するかどうかだけではなく、それぞれの活動でできていることを確認する必要がある

（２）　第２回検討委員会での検討

①　現在の生活支援の仕組みについて共有
- いきいき生活サポーター　P2、4、５西川主査、P6 石村委員
  ヘルパー（専門職状況）について、追加説明有
- お助け隊　P2、３、７～１１石村委員

山根委員長のまとめ
地域に困っている人はいる状況。
生きサポ、お助け隊を統合していく。
お助け隊の最低限のルールを作って、使いやすいものへ（地域外 OK、個人情報保護とか）
ヘルパーの高齢化もあるので、ゆくゆくは地域への助けは必要。地域だけがんばるのではなく、行政・社協の力ももらいながら、地域の存続を。意見を持ち帰って、縦割りせずに行政で検討をお願いします。

４．　今後の予定

第３回　令和９年２月３日（水）13:30～15:00　　場所　高梁市役所 ３階 大会議室１